

ここ数年、地球規模で気候変動が起こっています。本年は六月から真夏日を記録するなど、全国的に命に関わるような異常な高温が続いています。

八月はお盆月とも言われ、祖先の霊を祀る行事が行われます。日本人の家庭の宗教は九割近くが仏教です。仏教には元来、祖先を供養するという教えはありませんでした。しかし、仏教が日本に伝来し、日本民族の固有の信仰である神社神道の祖霊祭祀を取り入れる事で、広く布教されていきました。

迎え火を焚き、祖先の霊をお迎えし、親類・縁者が集って祖霊をもてなし、送り火を焚いてお送りします。最近は少なくなつた「盆踊り」や観光化している「花火」も祖霊を慰める行事です。

また、本年は終戦八十年の節目の年となります。先の大戦で散華された飯岡地区三百五十余柱の英霊に、感謝の誠を捧げることは、平和の世の中で暮らす我々の務めでもあります。「祖先を大切にし、祖先を偲ぶことが人間として最も大切である」という日本人の心に根ざした信仰を子や孫の世代に伝えていく事が、欧米化した物質主義から日本人らしさを取り戻すためには大切な事です。

今月の行事

一日 八朔（田の実の節句＝初穂献上）

七日 立秋

一日 山の日（祝日） 一三日 盆・迎え火

一日 終戦記念日

一六日 戦没者慰霊祭（玉崎神社・慰霊塔 七時～）

二一日 盆・送り火

二二日 海匠銚支部神職会議・総代会理事会

二三日 処暑

三一日 二百十日（風祭）

＊玉崎神社 正月例祭（一月十五日）の御的^{おまとしんじ}神事^{ごたくせん}で、

年の後半は「水・風を侮るべからず」の御託宣。

渇水・ゲリラ豪雨や台風に注意！

